

地域医療連携だより

高松市立病院
基本理念

『生きる力を応援します』

高松市民病院
基本方針

- 1『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3『まごころのある医療人』を全力で育成します。

平成27年

3月号
〈第16号〉

病院屋上からの眺望



診療科紹介 小児科

渡邊 俊之 大橋 博美

日頃より何かと大変お世話になり、ありがとうございます。

高松市民病院小児科を紹介させていただきます。

医師は渡邊診療部長と私大橋の2人です。毎日午前午後、外来担当医を決めてはいますが、「いつもの先生」とのご希望があれば、可能な限りその医師が診療を行う体制をとっています。医者が2人だけのコンパクトな組織であるため、小回りの効く小児科です。

入院病棟は他科との混合病棟ですが、小児科担当看護師が看護に当たります。病棟看護師は「小児疾患」の勉強会を重ね、看護はもちろんのこと保護者の方からのご質問にも的確にお答え致します。感染症の多い小児疾患であるため、子供同士が院内で感染することがないように院内感染対策には十分かつ厳重な配慮を行っています。

最近は共働きの若いご両親も増えています。通院が困難なご家庭や、入院治療となると更に難しいご

家庭も多く、治療方針は保護者の方と相談しながら、その子供、そのご家庭に見合った医療を行うようにしています。

また、「わたしのカルテ」「ぼくのカルテ」として、検査結果はもちろんのこと、医師のカルテ記事をその場でお渡しするようにしています。その記事を家にお持ち帰りいた



だき、病院に付き添いが出来なかった保護者の方に家で説明するのに役立てていただいております。そのカルテはお子様成長された時に「お父さんは子供の頃にこんな病気になったよ。」という思い出話だけではなく、自身の子供が体調を悪くした時に「そうか、熱が出た時には熱冷ましはあまり使わない方が良いんだな。」とか「嘔吐した時にはこうすれば良いんだな。」など育児の手助けになれば幸いと考えております。

たくさんある小児科の中で私たち小児科を選んで受診して下さる子供たち、保護者の皆様に感謝しながら、また、開業されている先生方からは安心して

紹介していただけるような小児科を目指して、日々の診療を続けて参ります。

最後に、最近5年間の入院患者数の推移を提示致します。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

(文責 大橋)

入院患者数	
平成22年度	487
平成23年度	508
平成24年度	2541
平成25年度	2537
平成26年度(4月~12月)	2662

第1回 高松市民病院地域医療連携推進委員会の開催

地域包括ケアシステムの構築が求められる中で、急性期病院としての機能を担う当院が、地域の病院や診療所などと連携を図りながら地域医療連携体制の一層の推進及び充実に寄与することを目的として、この度、平成27年2月5日(木)に「第1回 高松市民病院地域医療連携推進委員会」を開催致しました。地域で支える医療に向けて、効率的で良質な医療提供体制を構築するために、本会にてご意見を賜り、地域の医療機関の先生方との連携をより密にしていきたいと思っています。



第3回 地域医療連携カンファレンス開催のご案内

特別講演 『見落とししやすい血液疾患』

講師

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

生体情報内科学 教授 安倍 正博 先生



《講師プロフィール》

S59年 徳島大学 医学部卒業、第一内科入局

H元年 米国テネシー州立メディカルセンター留学

H27年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

生体情報内科学 教授

《専門領域》

血液内科（特に多発性骨髄腫）

日時：平成27年5月28日(木) 19:00～21:00

場所：ロイヤルパークホテル高松 ロイヤルホール

高松市瓦町1-3-11 TEL087-823-2222

演題：「見落とししやすい血液疾患」

意見交換会

尚、地域医療連携カンファレンス参加者は、日本医師会生涯教育制度の体験学習1単位、カリキュラムコード(25)(80)を取得いただけますので、併せてご案内申し上げます。

新型インフルエンザ受け入れ訓練を実施しました

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第12条において、指定行政機関の長など（指定行政機関の長及び指定地方行政機関の長、地方公共団体の長等並びに指定公共機関及び指定地方公共機関）は、訓練を行うよう努めることが求められております。

当院では、1月23日(金)に国・県と経過設定を合わせた「同時訓練」として、新型インフルエンザの受け入れ訓練を実施しました。当院は第2種感染症の指定病院であり、感染症病床6床を有しているため、新型インフルエンザが発生した際には、地域の保健医療機関と連携しながら入院治療を担いたいと考えております。



介護関連施設職員研修会を開催しました



第10回介護関連施設職員研修会を通して

1月28日(水)に『皮下埋め込み型ポートの管理について』の演題にて、18名の施設職員の方に、当院外科医師より『皮下埋め込み型ポートについて』、がん化学療法看護認定看護師より『ポート造設後の管理について』の講義を行わせていただきました。施設職員の方には、講義後に模型を使用して穿刺や抜針などの実技も体験していただきました。当日行ったアンケート調査より、「施設で受け入れできそうだと感じた。」「他のスタッフに本日の研修内容と知識を広めていきたい。」「ターミナルの方で末梢血管では血管確保が難しい方に、ポートがあれば安心安全に点滴ができるので、ポートを勧めたいと思った。」など多数のご意見をいただくことができました。ご参加ありがとうございました。



第11回介護関連施設職員研修会を通して

2月25日(水)に『医療・介護従事者における腰痛予防』の演題にて、当院理学療法士より16名の施設職員の方に講義のみならず、実際に介護腰痛予防の実技を行っていただきました。当日行ったアンケート調査より、「腰痛予防体操を行う必要性を感じた。始業前の腰痛体操を取り入れていきたい。」「腰をおとすことを理解していても忙しくて中腰をとってしまうことが多々あるので基礎に戻って予防していこうと再認識した。」「仲間の腰痛予防につなげ、職場全体で腰痛を無くし、さらに良い介護を行いたい。」など多数のご意見をいただくことができました。ご参加ありがとうございました。

出産後の祝い膳をはじめました

当院では、出産されたお母さんにお祝いの気持ちを込めて、平成26年10月から祝い膳をご用意させていただいております。多くの方々からお喜びの声をいただいております。今後もより一層おいしく召し上がっていただけるように、管理栄養士が「味」「彩」などに気を配り、日々取り組んで参ります。

